

税に関する作文コンクール



「税とくらし」

美馬小学校 6年2組 にしおか 西岡 りむ 玲紫

税について考えたとき、双子の妹が生まれた時の事がすぐ頭にうかびました。

妹達は、予定日より2ヶ月も早くに生まれそうになり、まだ小さく、生まれてきてもすぐにNICUに入らなければならず、NICUのある徳島市民病院まで救急車にお世話になりました。

病院に着いてすぐ、きん急手術をして無事に生まれました。すぐにNICUに入れられ24時間かん護の中で1ヶ月過ごしました。ミルクも鼻からチューブで胃へ流して栄養をとり、母は毎日母乳を運んでいました。ぼくはガラスごしにしか妹達に会えなかったけど元気に成長している姿を見れて、とてもうれしかったです。

今は4歳になり、元気いっぱいです。この元気な妹達があるのは、病院の先生やかん護師さんのおかげですが、忘れてはいけないのは「税金」です。一刻も早く病院へ運んでくれた救急車、救急隊員さん、そしてNICUは高額な医りょう機器が設置されていて医師かん護師さんが24時間体制で治りょうしてくれるため設備や先生方への給料など、ぼう大な設備がかかります。その費用は患者が払わなければいけません。そして妹達はシナジスという予防接種をしていたのですが、この予防接種だけでも2人合わせて10万すると聞いておどろきました。でも未熟児医りょう費助成制度のおかげで大部分の援助があり予防接種だけでなく入院費などの負担も減り、大変助かったと母に教えてもらいました。この医りょう費助成制度こそ税金からなのだと知りました。ぼく達が安心して暮らせるのは、税があるからこそだと思います。

ぼくは、これからも税金に感謝して、税の事をもっと知って、社会の一員としてきちんと税金を納めていける人になります。